

### 5-3-1 底版（打設日：経過日数 0day）

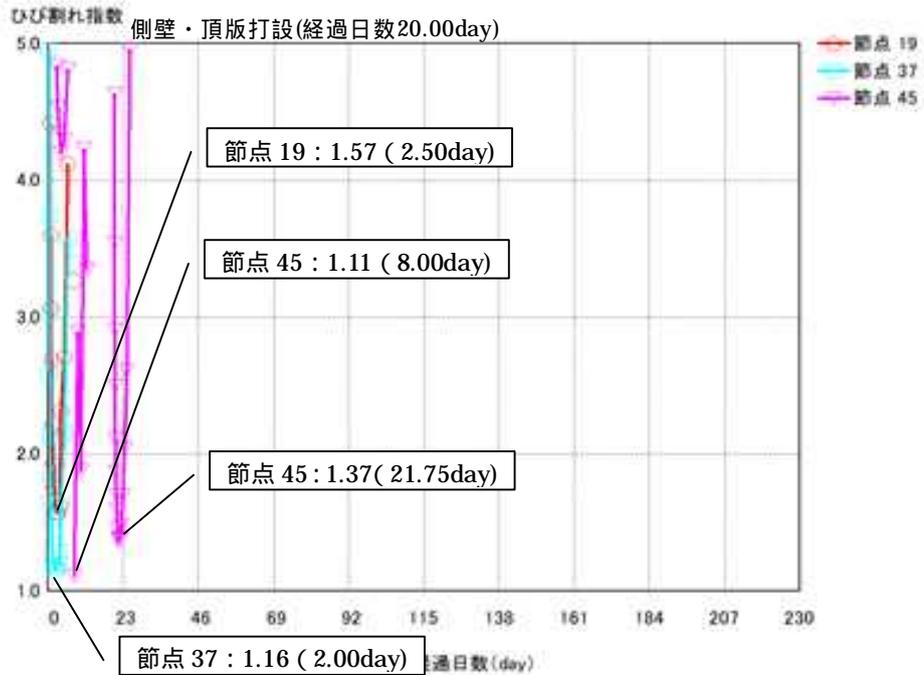
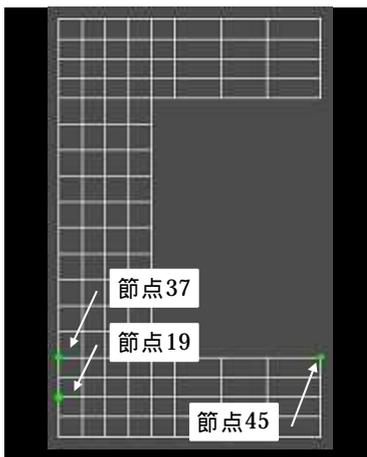
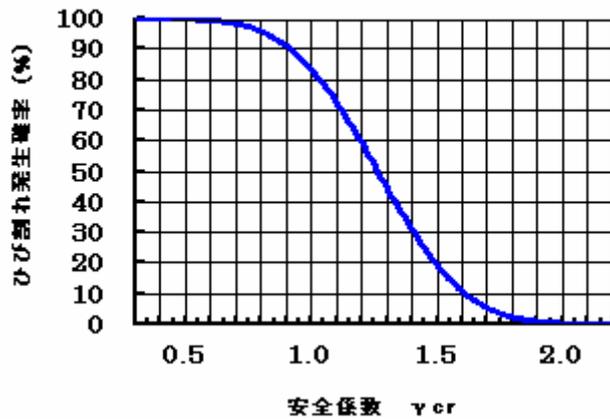


図 5-3-1 底版主要節点の最小ひび割れ指数



安全係数とひび割れ発生確率図



全体的に指数は 1.0 以上を確保していて比較的良好な状態にある。それぞれの最小指数は節点 19 で 1.57、節点 37 で 1.16、節点 45 で 1.11 となりひび割れ発生確率は 14%、66%、72%である。図 5-2-1 の温度履歴図からそれぞれの指数低下の原因を推測すると、節点 19 の最小指数を示す 2.50day は内部中心温度がピークアウトした 0.5 日後で、当該節点は既に 1.25 日前にピークアウトしていて 2.50day は急激な温度降下過程に入っている。この時期は内外温度差がピークに達している時期である。節点 37 も同様である。節点 45 の最小指数を示す 8.00day は養生マットを撤去した翌日で急激な温度低下(サーマルショック)によるものである。また、21.75 日後の再度の指数低下は側壁コンクリートの入熱により側壁近傍のみ暖められたために生じたものである。